

# 平成21年度 病害虫発生予察技術資料 第3号

平成21年 9月 7日

島根県病害虫防除所

☆トビイロウンカ：「きぬむすめ」など9月下旬以降に収穫する圃場では、トビイロウンカの発生に注意してください。

## 1. 発生状況

9月4日に益田市と浜田市のきぬむすめ20圃場で25株払い落とし調査を行いました。

トビイロウンカ	9月4日	平年値（8月下旬）	
発生圃場率	35%	21%	
25株当たり虫数	1.85頭	1.35頭	
成虫比	81%	70%	※全体における成虫の割合
短翅率	35%（♀67%）	32%（♀39%）	

全体では要防除水準には達していませんが、一部では寄生密度の高い圃場も見受けられました。本年はメス成虫の短翅率が高く増殖型と考えられます。今後、密度が急激に増加し坪枯れを起こす恐れがあります。

トビイロウンカの発生は圃場毎、圃場内でも部分的に大きく異なるので、圃場全体の発生状況を的確に把握し防除の要否を判断してください。

## 2. 今後の発生予測パターン

7月25日飛来群について実測・平年値を用いた有効積算温度計算から今後の発生予測パターンを作成しました（JPP-NET病害虫発生予測システム）。

9月1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



本年のトビイロウンカは大きな飛来波は確認できませんが、小刻みな飛来が続いたと考えられます。浜田市の予察灯には7月25日頃を中心に飛来が認められました。

## 3. 防除時期

9月10～14日頃（上図◎第2世代幼虫最盛期）にイネ株元を調査して、成幼虫5頭/株以上のトビイロウンカが確認された場合は直ちに防除を行ってください。

## 4. 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤は本種の生息する株元によくかかるように丁寧に散布する。
- (2) 収穫が迫り薬剤散布ができない圃場は可能な限り早く収穫する。
- (3) 防除に当たっては、農薬の使用基準（適用作物、使用量又は濃度、使用時期、総使用回数）を遵守する。